



CORPORATE PROFILE



## 世界をもっと KAITEKI に。

気候変動、人口増加、資源・エネルギー、海洋プラスチックごみ等、  
世界は今、かつてない課題に直面し、大きな変化を迫られています。

私たち三菱ケミカルグループは、これまで培ってきた  
総合化学のチカラで、世界規模の環境・社会課題を解決し、  
未来の KAITEKI を実現します。

人だけでなく、社会や地球にとっての心地よさがずっと続くように。

世界に、そしてあなたに、私たちにしかできない  
ソリューションを提供していきます。

三菱ケミカルグループの  
Mission (使命) と Value (価値観)

## Mission

---

化学の力で地球を救う、あなたと共に未来を創る

## Value

---

1. 突きつめる安心
2. たゆまない挑戦
3. とらわれない心
4. 連鎖する個
5. 分かちあう誇り

## 三菱ケミカルの変革

三菱ケミカルは、素材から機能商品といった  
多種多様な製品を提供し、あらゆる産業の基盤を支えています。  
社会課題への取り組みに対応した、製品軸中心のドメイン体制で、  
さらなる成長をめざします。

5つのドメインを4つの製品軸に分けてご紹介します。

## Basics

---

ケミカルリサイクルの実用化を含めた原料の多様化を進めつつ、常に時代のニーズに合わせ事業を展開しています。

ドメイン

ベーシックマテリアルズ

MMA

## Specialities

---

幅広い素材の付加価値向上を実現し、高機能材料を世界に供給しています。

ドメイン

ポリマーズ & コンパウンズ

## Moldings

---

さまざまな成形加工技術を駆使し、用途に適した製品を提供します。

ドメイン

フィルムズ & モールディングマテリアルズ

## Solutions

---

先端的な製品や技術、ビジネスモデル、アイデアで、社会が求めるさまざまな価値を高める新しい答えを創造します。

ドメイン

アドバンスソリューションズ



## Basics

サーキュラーエコノミー実現を可能にする素材の開発へ。

ケミカルリサイクルの実用化を含めた原料の多様化を進めつつ、常に時代のニーズに合わせて事業を展開しています。

## ベーシックマテリアルズ



オレフィン・アロマ



ケミカルズ



炭素

## MMA



MMA モノマー / アクリル樹脂

## | Specialities

多様な先進素材でテクノロジー進化を促進。







パフォーマンスポリマーズ



アセチルポリマーズ



サステイナブルポリマーズ



コーティング材



添加剤・ファイン

幅広い素材の付加価値向上を実現し、  
高機能材料を世界に供給しています。



## ■ Moldings

高度な成形加工技術で、時代のニーズ・課題に対応。

さまざまな成形加工技術を駆使し、  
用途に適した製品を提供します。

フィルムズ & モールディングマテリアルズ



パッケージング



工業フィルム



ポリエステルフィルム



炭素繊維



アドバンスドマテリアルズ



アルミナ・繊維

## Solutions

誰もがより良く暮らせる社会へ。





アクア・インフラ



ライフソリューション



半導体



エレクトロニクス



電池材料

先端的な製品や技術、ビジネスモデル、アイデアで、  
社会が求めるさまざまな価値を高める新しい答えを創造します。

## 社会課題への取り組み

私たちは、社会課題の解決に貢献するソリューションを提供することで、自らの持続的成長を実現しながら、2050年には現在ある課題の多くが解決されている社会をめざします。

そのために、私たちが2030年までに取り組むべき社会課題を特定し、成長事業領域として取り組んでいきます。

「2050年のめざすべき社会」とは

GHG インパクトニュートラルな  
新・炭素社会

資源循環型社会

持続可能なシステムを備えた  
食糧・水のリスクから  
解放された社会

健康でいきいきと  
暮らせる社会

通信・エネルギーシステムが  
スマート化された  
持続可能な都市

個の多様性が  
活かされる社会



## GHG低減

温室効果ガスを低減し、  
気候変動の緩和に貢献します。



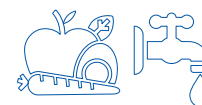
## 炭素循環

炭素が循環する社会で、  
持続可能な快適さを追求します。



## 食糧・水供給

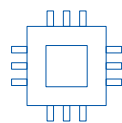
食糧・水の供給不安の  
解消に貢献します。



## 社会課題への 取り組み

## デジタル社会基盤

次世代の  
デジタル社会を支えます。



## 人快適化

安心・安全に向き合い、  
真の快適さを生み出します。



サーキュラーエコノミー

---

## Circular Economy

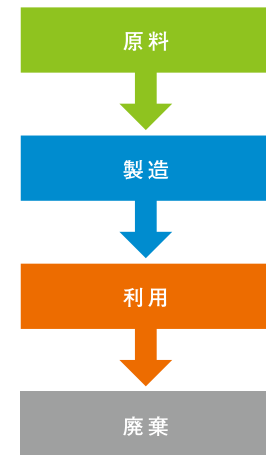
気候変動や資源・エネルギーをはじめとする  
環境課題の解決に向けて、三菱ケミカルグループは  
サーキュラーエコノミーを重要な戦略と位置付けています。  
私たちは幅広い事業を運営する総合化学メーカーとして  
また社会の一員として、自らの事業活動から生じる  
環境負荷低減にとどまらず、技術・製品・サービスを通じ  
皆様にソリューションを提供し続けていきます。



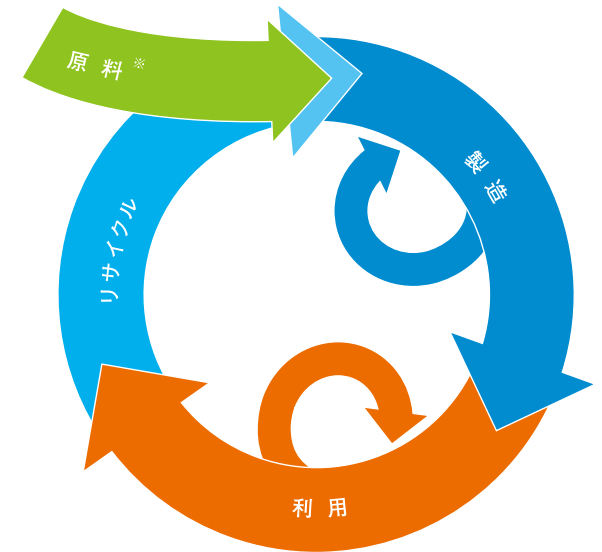
## サーキュラーエコノミー

従来の「採って、作って、使って、廃棄する」という一方通行のリニアエコノミーから、リサイクルを含む資源の有効活用や再生可能原料の使用などをはじめとするサーキュラーエコノミーへの移行を推進することにより、社会からの要請に応えていきます。

※新たに投入する化石資源を減らすだけでなく、再生可能な原料を用いた循環系をめざします。



リニアエコノミー  
(従来)



サーキュラーエコノミー  
(めざす姿)

## サーキュラーエコノミーの活動

### 人工光合成

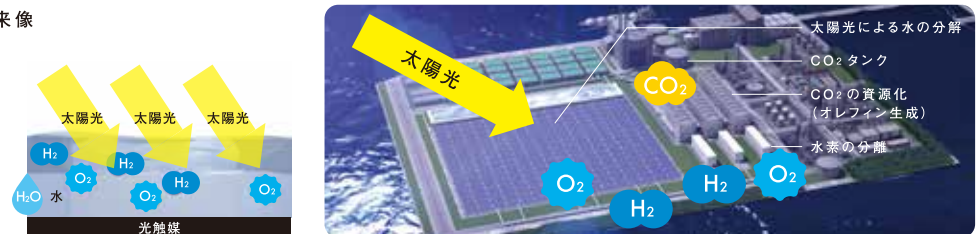
炭素循環に向けて、太陽光を用い水を分解して得られた水素と、工場などから排出される二酸化炭素を化学品の原料として利用する人工光合成の技術開発を進めています。

#### 人工光合成の流れ



#### 人工光合成の将来像

太陽光と水から得られた水素と二酸化炭素でプラスチックの原料をつくる。



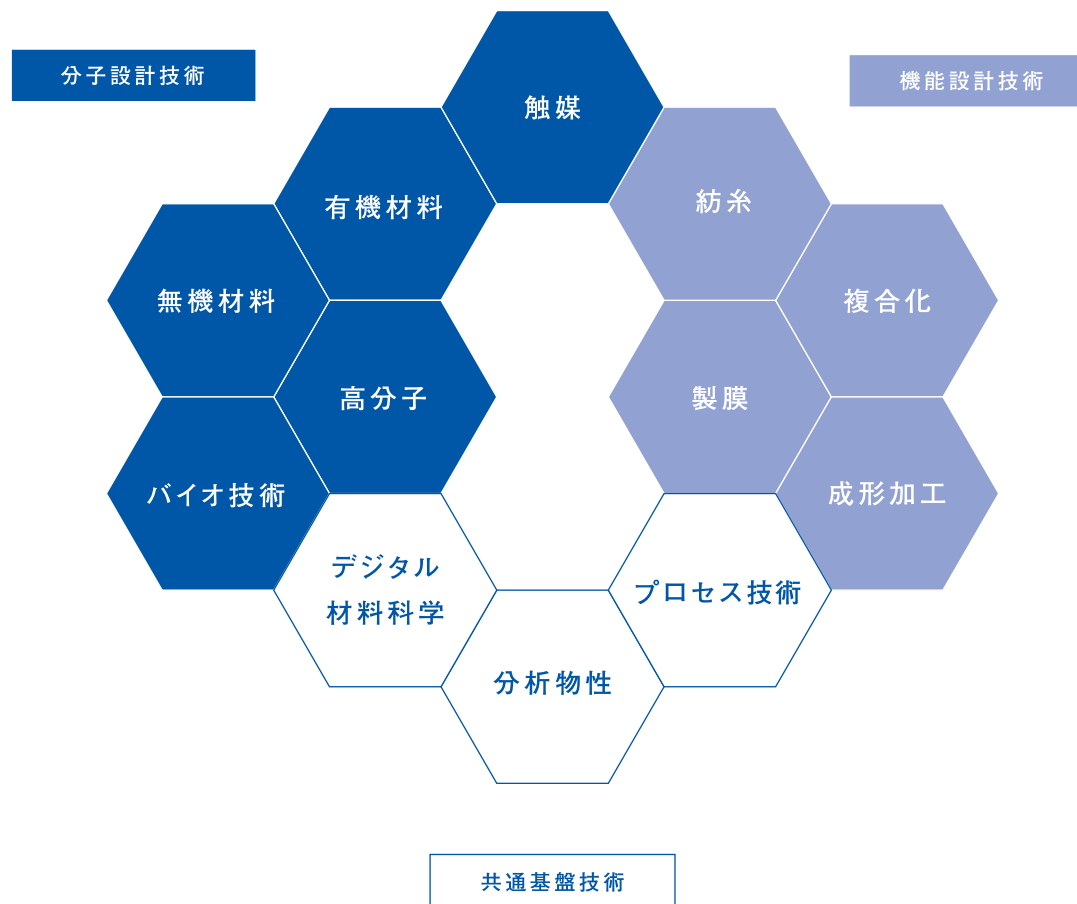
### “Connect, Create & Capture Value”

三菱ケミカルグループは、KAITEKI 実現をビジョンに掲げ、人・社会・地球の課題を解決し、持続可能な未来をめざしています。その実現のために、「化学の力で地球を救う、あなたと共に未来を創る」をミッションとし、さまざまな社会課題に対して継続的にソリューションを提供していきます。社会の本質的な要請に応えるイノベーションを実現するため、研究開発部門と各事業部門が密接に連携して、急激な市場変化にも柔軟に対応するとともに、その原動力となる技術基盤のさらなる深化を追求し、市場のニーズと適切に結び付けてその価値を最大化することで、中長期の成長戦略を推進しています。

デジタル化、グローバル化が進み、産業構造そのものが一変しようとしている世界において、研究開発には時代の動きを鋭敏に捉えて対応することが求められます。そのためにも、①数十年先の未来予想からバックキャストし、自社の技術と市場の整合性を取りながらターゲットを定めるトップダウン型のテーマ推進、②研究者の自主性を重んじながら、市場との対話により個々のアイデアを価値化していくボトムアップ型のテーマ創出、③これらの中長期に下支えしていくテクノロジープラットフォームを軸としたサイエンスの深化、④現在の事業に貢献し、事業化へ向けてアジリティが要求されるテーマ群の効率的な運営、これら4つのアプローチを適切に組み合わせながら、時代の流れに応じた新しい価値を社会実装していきます。加えて、人間の創造性を最大化するためのツールとしてのDX導入、技術資産を価値化していくためのマーケティング機能の強化、アカデミアやベンチャーとのネットワーキングによるオープンイノベーション等の施策も推進することで、短中長期にわたりグローバルにイノベーションを生み続ける仕組みを構築し、社会実装へ向けた取り組みを加速化していきます。

三菱ケミカルグループの研究開発は、グローバルに社内外の知を繋ぎ（Connect）、サイエンスとテクノロジーの力で、ボトムアップとトップダウンの相互作用から生じる知的価値を最大化し（Create）、パートナーと共にイノベーションを生み続け、明るく持続可能な未来を拓いていきます（Capture Value）。そして、危機に瀕している地球を「化学」の力で救うとともに、皆様と一緒に人、社会、そして地球の心地よさを追求し、KAITEKIを実現していきます。

## 技術プラットフォーム



# 国内拠点

研究所   事業所   工場

富山事業所  
滋賀研究所   滋賀事業所  
大阪研究所  
岡山事業所  
香川事業所  
広島研究所   広島事業所  
福岡研究所   福岡事業所

熊本工場

研究所   事業所   工場

小名浜工場

筑波工場

茨城事業所

Science & Innovation Center

分析物性研究所

鶴見研究所

鶴見工場

平塚工場

大垣工場

愛知研究所   愛知事業所

三重研究所   三重事業所

- 本社／東日本支社
- 北海道エリア
- 中部支社
- 西日本支社
- 九州エリア



## 海外拠点

欧州・中東・アフリカ



Mitsubishi Chemical  
Europe GmbH  
ドイツ

日本



三菱ケミカル株式会社  
本社

米州



Mitsubishi Chemical  
America, Inc.  
米国



中国



Mitsubishi Chemical  
(China) Co., Ltd.  
中国

アジア・パシフィック



Mitsubishi Chemical  
(Thailand) Co., Ltd.  
タイ

米州、欧州、中国、アジア・パシフィックにリージョナルヘッドクォーター（地域統括会社）を設置し、各地域におけるマーケティング、研究開発推進、人材育成・活用など、事業活動を横断的にサポートします。

## 社会の変化を的確に予測し、 成長し続ける総合化学会社へ

私たち三菱ケミカルグループは、変化の激しい時代だからこそ、徹底的に総合化学にこだわります。環境・社会課題の解決に貢献し、持続可能な社会をステークホルダーの皆様とともに築くこと、すなわち「KAITEKI 実現」をビジョンとして、多様な製品と技術の組み合わせで社会に役立つ新たな価値を創造し、社会の変化とともに持続的に成長する会社であり続けます。そのために、全従業員が高い倫理観のもと、コンプライアンスを徹底し、事業に取り組んでまいります。操業の安全・安定の確保はもちろんのこと、グローバルな人材育成やダイバーシティの推進、営業改革にも注力いたします。経営幹部・営業・開発担当が一丸となってお客様との関係を深めることで、社会の変化を機敏に感じ取り、将来を予測し、世の中のニーズにあったソリューションをこれまで以上にご提案・ご提供してまいります。



代表取締役社長

和賀 昌之

## 会社概要

会社名	三菱ケミカル株式会社	発足	2017年4月1日
住所	〒100-8251 東京都千代田区丸の内1-1-1 パレスビル	資本金	532億2900万円
TEL	03-6748-7300 (代表)	拠点	3支社、9研究所、9事業所、6工場／ リージョナルヘッドクォーター4社
創業	1933年8月31日		

## 沿革

